

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		2011年 7月 26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府福知山市長田野町1丁目54番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本製紙クレシア株式会社 京都工場 取締役京都工場長 茂木 正俊
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場	
導入年月日	2003年 12月 19日	
認証番号	JQA-EM3618	
基本方針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤環境に配慮した技術・製品の開発 ⑥積極的な環境コミュニケーション	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	資源の有効活用・・・古紙利用率15%継続 省エネルギー・・・エネルギー原単位2008年度比6%削減 省エネルギー・・・温室効果ガス2009年度比1%削減 廃棄物発生量削減・・・ヘルスケア工程廃棄物重量2009年度比3%削減 化学物質使用量削減・・・P T R薬品2009年度比1%削減 工場緑化・・・工場敷地側面の改善（植樹等） 環境コミュニケーション・・・工場見学受入れ推進	
目標を達成するための取組の内容	省エネ・・・抄紙機WET熱風温度低減、エアー漏れ箇所の補修、コンプレッサーエアーのブロワ化、歩留向上等 廃棄物・・・ヘルスケア不良品等の削減 化学物質・・・ガンソリン使用量の削減 緑化・・・側面植樹 コミュニケーション・・・工場見学受入れ	
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネ・・・抄紙機WET熱風温度低減、エアー漏れ箇所の補修、コンプレッサーエアーのブロワ化、歩留向上等を実施中 廃棄物・・・ヘルスケア不良品等の削減を実施中 化学物質・・・ガンソリン使用量の削減を実施中 緑化・・・側面植樹を継続して実施中 コミュニケーション・・・工場見学受入れを実施中	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	省エネとして温室効果ガスの削減は目標を達成出来たが、エネルギー原単位の向上は、未達に終わった為、23年度の目標に取り入れ、継続して取組む。その他の項目については、計画通り取組んでいる。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回環境情報誌及び本社からの環境週報等で確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1年に1回社内内部監査、認証機関による外部監査、経営者による見直しを実施している。22年度は影響評価にて、有益な側面を積極的に取り入れるシステムの見直しを行った。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。